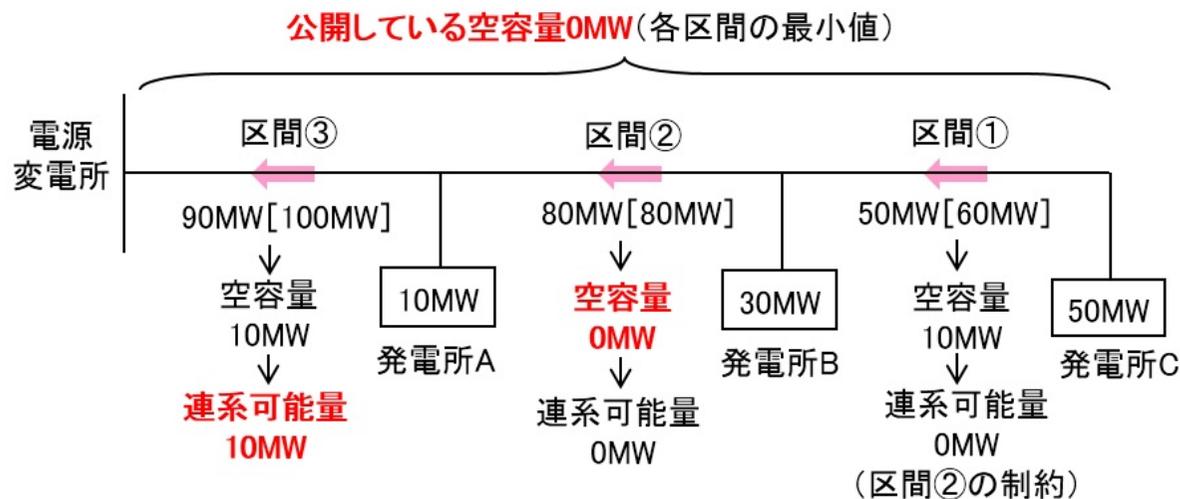


空容量マッピング利用上の留意点

- 本資料は 2019年4月22日 時点における系統状況から作成しております。
- 空容量は目安※であるため、系統連系の前には、接続検討(要申込み)による詳細検討が必要となります。
- 原則として熱容量に基づく空容量を記載しておりますので、その他の要因(電圧や系統安定度など)により系統連系制約が生じる場合があります。
- 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、受電電力が空容量の範囲内であっても、過去の増強工事費の一部を遡ってご負担いただく場合があります。
- 公表することにより、テロ等による社会的な大きな影響を受けることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報は公開しておりません。
- 個別の電力供給契約が特定可能な第三者情報は公開しておりません。

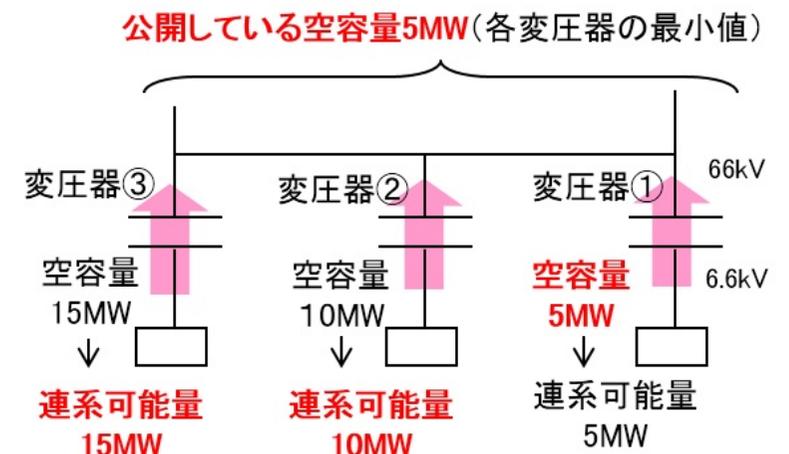
※公開している空容量と連系可能量が異なる例

例1) 送電線



[]内の値は設備容量

例2) 配電用変電所

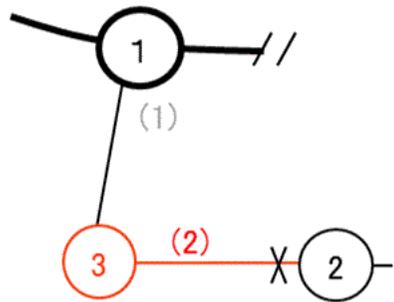


154kV, 66kV, 22kV系統空容量マッピングの記載方法について

○既にお申し込みを頂いている発電設備の連系状況を踏まえ、以下の凡例で系統の空容量を示しております。

※空容量の数値[MW]については、別紙「空容量一覧表」を参照願います。

- ・**赤色**: 現在、特別高圧系統の空容量が不足し、連系のための対策が必要となる可能性が高い電力設備
- ・**黒色**: 現在、特別高圧系統の空容量があり、連系のための対策が必要となる可能性が低い電力設備



①, ②, ③ : 変電所の設備番号
 (1), (2) : 送・配電線の設備番号

【凡例: 154kVマップ】

変電所	154kV	○
開閉所	154kV	⊗
周波数変換設備		⚡
交直変換設備		⚡
送電線	154kV	—
発電所	154kV	□

【凡例: 66kVマップ】

変電所	○
送電線	—
常時開放箇所	// ×

【凡例: 22kVマップ】

変電所	○
配電線	—

- ・セキュリティ等の理由により、系統の一部を記載していない都県がございます。
- ・破線で示した送電線・変電所は他社設備です。

○「154kV, 66kV, 22kV系統空容量マッピング」は特別高圧にて連系予定発電設備を対象としております。

空容量マッピング	対象発電設備
154kV	50,000kW以上にて連系予定の発電設備
66kV	10,000kW以上, 50,000kW未満にて連系予定の発電設備
22kV	2,000kW以上, 10,000kW未満にて連系予定の発電設備

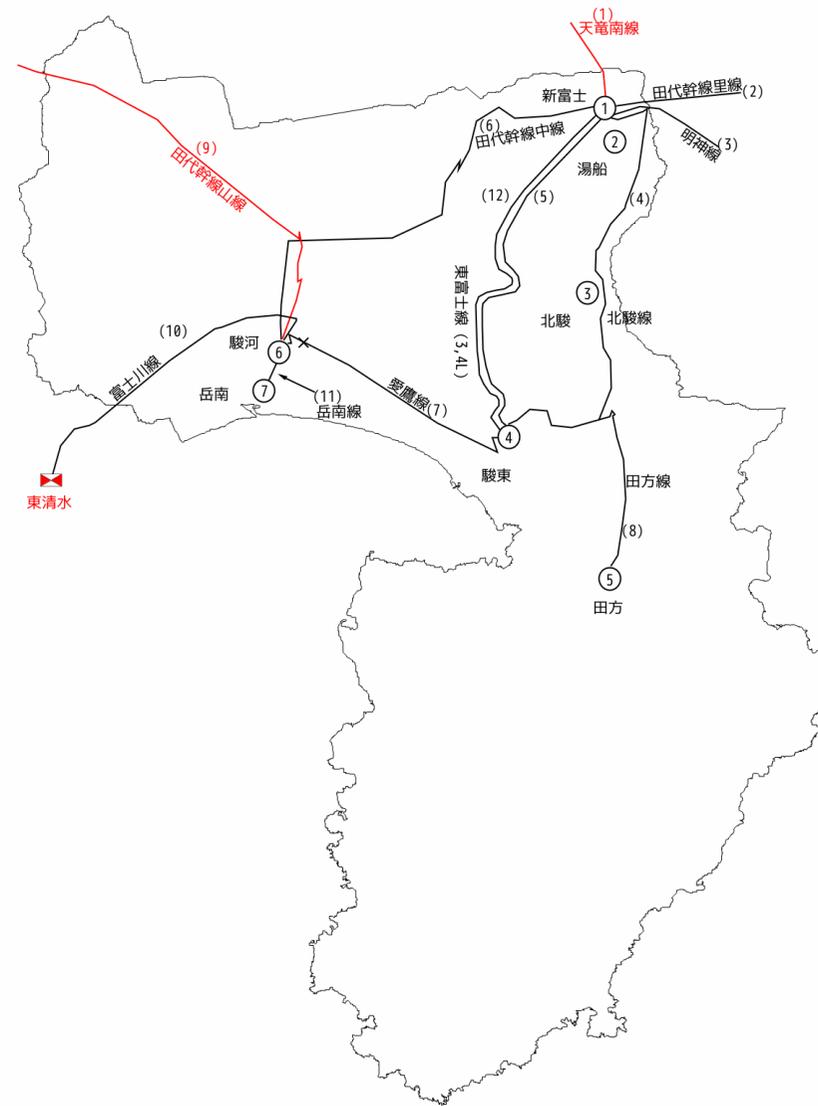
送電線運用容量一覧表の留意事項について

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 - ※1 1回線送電線のため1回線設備容量を記載
 - ※2 3回線送電線のため1回線故障時を考慮し2回線分の容量を記載
 - ※3 4回線送電線のため1回線故障時を考慮し3回線分の容量を記載
 - ※4 1回線故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
 - ※5 ループ系統構成(電源線を含む)を考慮
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下の通りです。
 - #1 基幹系ループ系統のため
 - #2 1回線送電線のため
 - #3 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (10) 送電線名に発電所名、需要者名等が含まれている場合には、送電線名を「-」としております。
- (11) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」については、順次詳細検討の結果を反映させて参ります。

変電所運用容量一覧表の留意事項について

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 - ※1 1バンク運用のため1バンク設備容量を記載
 - ※2 3バンク運用のため1バンク故障時を考慮し2バンク分の容量を記載
 - ※3 4バンク運用のため1バンク故障時を考慮し3バンク分の容量を記載
 - ※4 5バンク運用のため1バンク故障時を考慮し4バンク分の容量を記載
 - ※5 6バンク運用のため1バンク故障時を考慮し5バンク分の容量を記載
 - ※6 1バンク故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
 - ※7 ループ系統構成(電源線含む)を考慮
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 - #1 基幹系ループ系統のため
 - #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 - #3 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
 - #4 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (10) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」については、順次詳細検討の結果を反映させて参ります。

静岡県(富士川以東) 系統連系空容量マッピング ～154kVの電力系統～



静岡県(富士川以東)

運用容量一覧表～154kVの特高設備～

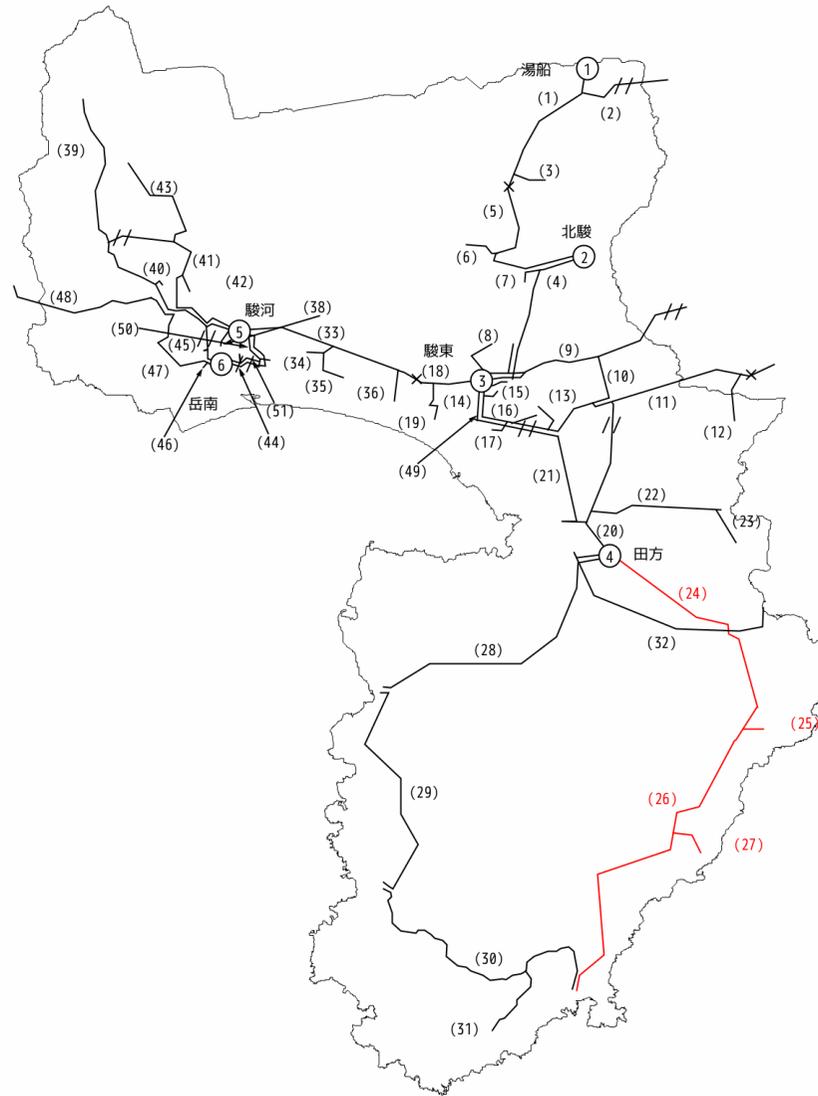
送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量		N-1電制 適用可否	N-1電制 適用可能量	備考
							当該設備	上位系考慮			
静岡県(富士川以東) 154kV 1	天竜南線	154	2	414	207	熱容量	0	0	可	207	
静岡県(富士川以東) 154kV 2	田代幹線里線	154	2	514	290	熱容量	257	80	可	224	※4
静岡県(富士川以東) 154kV 3	明神線	154	2	514	290	熱容量	257	80	可	224	※4
静岡県(富士川以東) 154kV 4	北駿線	154	2	1974	1131	熱容量	658	80	可	843	※4
静岡県(富士川以東) 154kV 5	東富士線(1,2L)	154	2	514	290	熱容量	257	80	可	224	※4
静岡県(富士川以東) 154kV 6	田代幹線中線	154	2	1974	1131	熱容量	329	80	可	843	※4
静岡県(富士川以東) 154kV 7	愛鷹線	154	2	986	565	熱容量	493	80	可	421	※4
静岡県(富士川以東) 154kV 8	田方線	154	2	1974	1131	熱容量	709	80	可	843	※4
静岡県(富士川以東) 154kV 9	田代幹線山線	154	2	294	165	熱容量	0	0	可	114	※4
静岡県(富士川以東) 154kV 10	富士川線	154	2	1654	945	熱容量	645	80	可	709	※4
静岡県(富士川以東) 154kV 11	岳南線	154	2	339	298	熱容量	111	80	可	41	※4
静岡県(富士川以東) 154kV 12	東富士線(3,4L)	154	2	514	290	熱容量	257	80	可	224	※4

静岡県(富士川以東)

運用容量一覧表～154kVの特高設備～

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量		N-1電制 適用可否	N-1電制 適用可能量	備考
		一次	二次					当該設備	上位系考慮			
静岡県(富士川以東) 154kV 1	新富士	500	154	2	1396	820	熱容量	80	80	可	576	※6
静岡県(富士川以東) 154kV 2	湯船	154	66	2	190	114	熱容量	72	72	可	76	※6
静岡県(富士川以東) 154kV 3	北駿	154	66	1	190	190	熱容量	138	80	不可 #2	-	※1
静岡県(富士川以東) 154kV 4	駿東	154	66	4	669	585	熱容量	627	80	可	84	※3※6
静岡県(富士川以東) 154kV 5	田方	154	66	3	566	451	熱容量	32	32	可	115	※2※6
静岡県(富士川以東) 154kV 6	駿河	154	66	4	539	433	熱容量	323	80	可	106	※3※6
静岡県(富士川以東) 154kV 7	岳南	154	66	3	566	456	熱容量	267	80	可	110	※2※6

静岡県(富士川以東) 系統連系空容量マッピング ～66kVの電力系統～



静岡県(富士川以東)

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量		N-1電制 適用可否	N-1電制 適用可能量	備考
							当該設備	上位系考慮			
静岡県(富士川以東) 66kV 1	原里線	66	2	184	104	熱容量	76	72	可	80	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 2	送電線	66	2	184	104	熱容量	92	72	可	80	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 3	南御殿場線	66	2	102	57	熱容量	51	51	可	45	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 4	深良線	66	2	184	104	熱容量	84	80	可	80	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 5	富士岡線	66	2	92	92	熱容量	75	75	可	0	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 6	須山線	66	2	184	104	熱容量	84	75	可	80	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 7	岩波線	66	2	372	212	熱容量	169	80	可	160	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 8	箱根線	66	2	444	254	熱容量	211	80	可	190	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 9	送電線	66	2	132	74	熱容量	66	66	可	58	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 10	桑原線	66	2	444	254	熱容量	214	80	可	190	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 11	真鶴線	66	2	132	74	熱容量	38	38	可	58	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 12	熱海線	66	2	122	68	熱容量	61	38	可	54	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 13	三島線	66	2	132	74	熱容量	66	66	可	58	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 14	沼津線(1,2L)	66	2	294	167	熱容量	146	80	可	127	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 15	送電線	66	2	102	57	熱容量	51	51	可	45	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 16	広小路線	66	2	184	104	熱容量	92	80	可	80	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 17	送電線	66	2	82	41	熱容量	41	41	可	41	
静岡県(富士川以東) 66kV 18	根方線(駿東側)	66	2	444	254	熱容量	222	80	可	190	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 19	間門線	66	2	372	212	熱容量	186	80	可	160	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 20	北伊豆線	66	2	444	254	熱容量	176	32	可	190	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 21	大仁線	66	2	184	104	熱容量	61	32	可	80	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 22	網代線	66	2	102	57	熱容量	34	32	可	45	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 23	宇佐美線	66	2	102	57	熱容量	50	32	可	45	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 24	東伊豆線	66	2	230	130	熱容量	0	0	可	53	※4

静岡県(富士川以東)

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量		N-1電制 適用可否	N-1電制 適用可能量	備考
							当該設備	上位系考慮			
静岡県(富士川以東) 66kV 25	八幡野線	66	2	102	57	熱容量	41	0	可	45	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 26	下田線	66	2	51	51	熱容量	43	0	可	0	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 27	稲取線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 28	土肥線	66	2	372	212	熱容量	106	32	可	141	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 29	西伊豆線	66	2	372	212	熱容量	116	32	可	145	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 30	南伊豆線	66	2	294	167	熱容量	70	32	可	114	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 31	下賀茂線	66	2	106	69	熱容量	47	32	可	37	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 32	伊東線	66	2	184	104	熱容量	56	32	可	79	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 33	根方線(駿河側)	66	2	444	254	熱容量	196	80	可	190	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 34	須津線	66	2	132	74	熱容量	48	48	可	58	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 35	送電線	66	2	190	127	熱容量	95	48	可	63	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 36	原線	66	2	184	104	熱容量	86	80	可	80	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 38	吉原線	66	2	138	92	熱容量	69	69	可	46	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 39	中里線	66	2	132	89	熱容量	20	20	可	43	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 40	送電線	66	2	102	57	熱容量	49	20	可	45	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 41	内野線	66	2	372	212	熱容量	133	80	可	160	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 42	大淵線	66	2	132	74	熱容量	36	36	可	58	
静岡県(富士川以東) 66kV 43	山宮線	66	2	132	74	熱容量	50	50	可	58	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 44	鈴川線(岳南側)(1,2L)	66	2	190	127	熱容量	95	80	可	63	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 45	駿富線	66	2	302	172	熱容量	97	80	可	130	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 46	宮島線	66	2	130	77	熱容量	65	65	可	53	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 47	入山瀬線	66	2	262	142	熱容量	101	80	可	120	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 48	樽坪線	66	2	102	57	熱容量	29	3	可	44	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 49	沼津線(3,4L)	66	2	294	167	熱容量	146	80	可	127	※4

静岡県(富士川以東)

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量		N-1電制 適用可否	N-1電制 適用可能量	備考
							当該設備	上位系考慮			
静岡県(富士川以東) 66kV 50	鈴川線(駿河側)(3,4L)	66	2	69	69	熱容量	69	69	可	0	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 51	鈴川線(岳南側)(3,4L)	66	2	190	127	熱容量	24	24	可	63	※4
静岡県(富士川以東) 66kV 52	長泉線	66	2	184	104	熱容量	87	80	可	80	※4

静岡県(富士川以東)

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

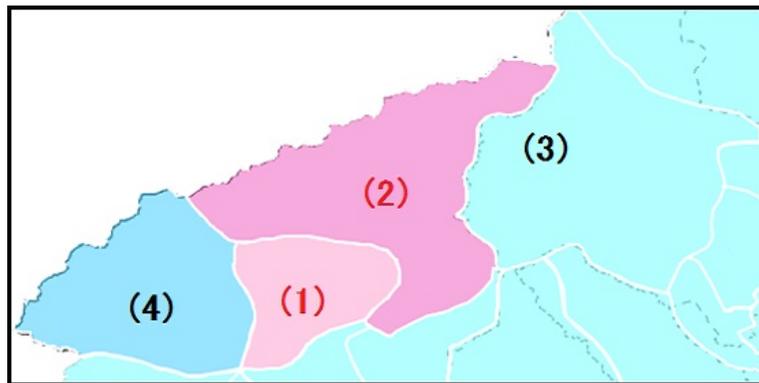
変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量		N-1電制 適用可否	N-1電制 適用可能量	備考
		一次	二次					当該設備	上位系考慮			
静岡県(富士川以東) 66kV 1	湯船	154	66	2	190	114	熱容量	72	72	可	76	※6
静岡県(富士川以東) 66kV 2	北駿	154	66	1	190	190	熱容量	138	80	不可 #2	-	※1
静岡県(富士川以東) 66kV 3	駿東	154	66	4	669	585	熱容量	627	80	可	84	※3※6
静岡県(富士川以東) 66kV 4	田方	154	66	3	566	451	熱容量	32	32	可	115	※2※6
静岡県(富士川以東) 66kV 5	駿河	154	66	4	539	433	熱容量	323	80	可	106	※3※6
静岡県(富士川以東) 66kV 6	岳南	154	66	3	566	456	熱容量	267	80	可	110	※2※6

配電用変電所エリア空容量マッピングの記載方法について

○既にお申し込みを頂いている発電設備の連系状況を踏まえ、以下の凡例で配電用変電所の空容量を示しております。

※空容量の数値[MW]については、別紙「空容量一覧表」を参照願います。

凡例	内容	連系までの見通し
	現在、特別高圧系統の空容量が不足し、連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア	上位系の対策が必要となる場合は早期連系は困難
	現在、特別高圧系統の空容量が不足し、併せて、配電用変電所及びバンクの逆潮流等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア	上位系及び配電用変電所の逆潮流対策等が必要となる場合は早期連系は困難
	現在、特別高圧系統の空容量があるエリア	上位系の対策なしで連系可能な見込み
	現在、特別高圧系統の空容量はあるが、配電用変電所及びバンクの逆潮流等について連系のための対策が必要となるエリア	逆潮流等の対策後連系可能

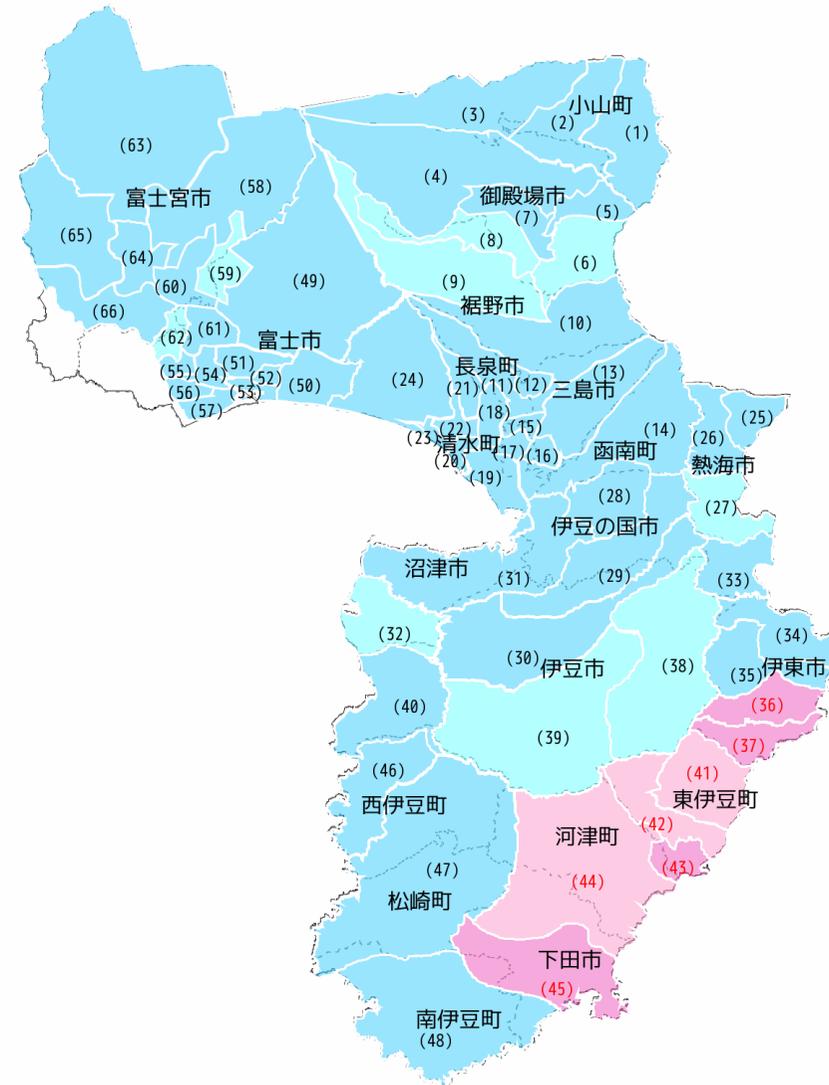


(1), (2), (3), (4) : 配電用変電所のエリア番号

○本資料は高圧(2,000kW未満)にて連系予定の発電設備を対象としております。

上記に関わらず50kW未満の太陽光発電設備等は「空容量マッピング」対象外です。

静岡県(富士川以東)系統連系空容量マッピング ～配電用変電所エリア～



【静岡県(富士川以東)】
配電用変電所エリア空容量管理表

エリア番号	空容量[MW]
(1)	10
(2)	8
(3)	8
(4)	15
(5)	20
(6)	1
(7)	17
(8)	16
(9)	5
(10)	20
(11)	7
(12)	20
(13)	10
(14)	17
(15)	20
(16)	20
(17)	15
(18)	10
(19)	19
(20)	19
(21)	20
(22)	10
(23)	10
(24)	20
(25)	10
(26)	10
(27)	10
(28)	20
(29)	10
(30)	4
(31)	20
(32)	6
(33)	18
(34)	15
(35)	19
(36)	0
(37)	0
(38)	6
(39)	7
(40)	10

エリア番号	空容量[MW]
(41)	0
(42)	0
(43)	0
(44)	0
(45)	0
(46)	10
(47)	10
(48)	16
(49)	20
(50)	15
(51)	10
(52)	10
(53)	10
(54)	15
(55)	20
(56)	10
(57)	20
(58)	19
(59)	7
(60)	15
(61)	20
(62)	3
(63)	10
(64)	10
(65)	17
(66)	8